

三兵木公十カ働カ学舎

支える会より

〒433-8108 浜松市中央区根洗町 681 番地の 5 ☎053-430-0596

浜松協働学舎を支える会 代表 荻野英子

2024.12.20

No. 75

浜松協働学舎防災対策のご紹介

施設総合防災訓練

11月の社会福祉施設防災の日に併せて、浜松協働学舎総合防災訓練を行いました。浜松協働学舎根洗寮を本部とし、通報訓練や、消火訓練、工房めい・だんは寮までの避難を行いました。

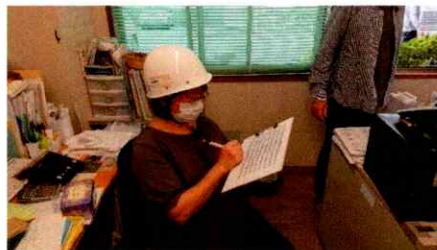
昨今、地震や津波のみならず、異常気象による豪雨や竜巻など、大きな災害を目にすることが多くなりました。能登半島地震が起きた後も豪雨災害に見舞われ、復興が遅々として進んでいないのが現状です。



浜松協働学舎でも非常時に備えて準備はしていますが、いざ大規模災害が起こってしまったらという不安もあります。

今回の訓練を通して、非常時の動きや連携、実際に災害に見舞われた時にどう行動するのかを職員間で確認をし、また各種道具の使い方を確認しました。

近い将来に大災害が起こると言われ続けています。日々の備えと訓練を重ねて、非常時にご利用者の命を守るように、日ごろから職員は準備をしていきたいと思えます。



根洗町防災訓練

12月1日(日)、昨年に引き続き、根洗町の防災訓練に参加させていただきました。

浜松協働学舎からは、ご利用者、職員の代表が根洗町公民館に避難をしました。その後は、地域の方とともに防災士の講話や応急手当、消火訓練といった訓練にも参加させていただきました。

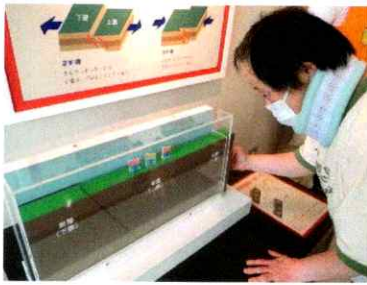
今回の防災訓練は、「いつ襲われるかわからない災害」地

震？大雨？突風・竜巻？」という趣旨のもと開催されました。

防災訓練に参加させていただき、改めて日頃からの準備の大切を実感しました。また、今後も地域の防災力の強化のため、平素からの関わりを通じ有事の際には助けあうことができる関係づくりを目指していきたいと思えます。

浜松市防災学習センター

8月に巨大地震注意報が出され、防災に対する関心が高まったことから、旧浜松市北小学校の跡地を利用して建てられた「浜松市防災学習センター（はま防く家）」を訪問しました。浜松市の災害の繋がりをハザードスコップで観ることができ、タブレットを使用してモデルルームの中に潜む危険な箇所をクイズに答えながら、家庭内の防災について楽しく学ぶことができました。



避難所HUG

「避難所HUG」とは、静岡県が開発した避難所運営を疑似体験する図上訓練ゲームで、根洗作業所でも製作の一部を担っております。

HUGは、

「H (hinanjō 避難所)」

「U (une i 運営)」

「G (game ゲーム)」

の頭文字をとったものです。

シンプルなゲーム構成のため、地域の実情に応じた様々な状況を自由に設定可能であり、災害に対する危機意識向上のみならず、より具体的な対策を検討するためのツールとして様々なコミュニティで活用されております。



全国の自治体でも災害対策訓練の一環として取り入れられておりますので、機会がありましたら是非ご参加をお願いします。

浜松市生活介護連絡協議会について

工房めい施設長 大橋奈実世

現在、浜松市内において生活介護事業を運営している施設は70ヶ所以上ありますが、これまで浜松市には生活介護というサービス種別でつながる組織がありませんでした。

そこで、つながりの必要性を強く感じていた有志が中心となり、令和6年6月「浜松市生活介護連絡協議会」が発足されました。浜松協働学舎のすべての生活介護事業所も加入いたしております。

この協議会には、社会福祉法人だけでなくNPO法人や株式会社なども加入しております。運営・支援のネットワークの構築を目指し、また、浜松市全体の福祉向上やご利用者の多様なニーズに応える協議や体制整備、課題解決、職員の資質向上のための研修等も行っていく計画となっております。

浜松協働学舎も生活介護連絡協議会に参画しながら、これまで以上に地域福祉への貢献ができるよう努めてまいります。

根洗フェスタ

毎年根洗町で行われる夏の一大イベント「根洗フェスタ」に今年も参加させていただきました。

浜松協働学舎からは、音楽隊ばったんの器楽演奏と、しまうま倶楽部のクッキー販売をさせていただきました。昨年はいくのお天気となり器楽演奏をすることが出来ませんでした。今年は雲一つない青空の下、力いっぱい演奏することが出来ました。根洗町の皆様からは、たくさん拍手をいただき、ご利用者は大喜びでした。クッキーの販売も好調で、「美味いよね」「癖なっちゃう」等の温かい言葉をたくさんいただきました。お招きいただき本当にありがとうございます。

浜松協働学舎



全力で演奏しました!!!

あったかいね おんがく

浜松東ロータリークラブ主催の音楽祭「あったかいねおんがく」が、浜松市ギャラリーモールソラモで開催され、浜松協働学舎もクッキーの販売をさせていただきました。

会場の中には、金のピアノが設置されており、ちびっ子からお年寄りまで、それぞれが思い入れのある曲を演奏されていました。また、ポリオの根絶に向けた募金や楽器作りのワークショップなども行われ、大賑わいの一日。「音楽のまちづくり」を掲げている浜松市ならではの、音楽の豊かさや楽しさを感じられる心温まるイベントでした。



元気ライブ

今年度も静岡県作業所連合会・わ西部地区区会主催の元気ライブがなやめた浜北を会場に開催されました。

初の平日開催でしたが、多くの皆さんが来場してくださいました。

浜松協働学舎からは「音楽隊ばったん」が出演し、パワフルな演奏で会場は大変な盛り上がりを見せておりました。音楽やダンス、コーラスを通じて出演者や来場者が一体感を感じ、ほっこり温かい気持ちに包まれた一日となりました。



スマイル祭



浜松協働学舎根洗寮

11月6日(水)、スマイル祭を開催いたしました。今年度のスマイル祭は「自然の中をウォークラリーのように歩きたい」というご利用者の声を受けて「ネアウォーク」と題し、浜松市フラワーパークにて実施されました。

天候や混雑が心配されましたが、前夜に降った雨の影響はほとんど感じられない快晴でした。外の気持ちの良い空気を感じながらご利用者、職員合わせて100名を超える賑やかな催しとなりました。昨年度好評だった屋外開催でしたが、大きな混乱はなく、皆さん落ち着いた雰囲気の中で散策を楽しまれています。



園内では、美味しいうちにおにぎり弁当を頬張る方、汽車から道行く人に笑顔で手を振る方、同じユニットの間と一緒に遠くまで頑張る方、売店に立ち寄り飲食を楽しまれる方など、皆さんが自由に思い思いの時間を過ごされました。今回もご利用者一人ひとりが楽しむことが出来

その時間を共有できるようなイベントを企画できれぱと思います。



やきものまつり

10月12日(土)、浜松協働学舎の風物詩『秋のやきものまつり』を開催しました。旬の食材を使用した季節感溢れるパンのほか、ぬくもり溢れる陶器

や木工製品、しまうま倶楽部のクッキーの販売を通して地域の皆様との交流を深める事が出来ました。

また、屋外ではキッチンカーやハンドメイド作家の出店もあり、一日を通して楽しんでいただけたいイベントとなりました。今後も地域の皆様に幅広く足を運んでいただけるイベントにしていきたいと思っています。

四季彩堂 有玉本店販売会

今年も市民の皆様には浜松協働学舎に集うご利用者の生産活動への関心や理解を深めていただくため、12月3日から9日の「障がい者週間」にあわせて、遠州根洗窯の陶器を中心にこもればパンの焼き菓子やしまうま倶楽部のクッキーをはじめ、法人内事業所の自主製品販売会を四季彩堂有玉本店2階ギャラリーで行いました。

障がい者週間の記念グッズ(陶器の箸置き)も無料配布し大変好評をいただきました。多くの市民の皆様にご来場いただき、浜松協働学舎の生産活動をより深く理解してもらえた3日間でした。



店舗のご紹介

こもれびの家に併設されている店舗は「しまうま倶楽部」と「遠州根洗窯」の2つの看板を掲げています。

「しまうま倶楽部」はこもれびの家のパンや焼き菓子、根洗作業所のクッキー等を主に販売しています。パンは一つ一つの素材にこだわり、毎朝丁寧に焼き上げています。そして根洗作業所のクッキーは繁忙期になると生産が追い付かないほど人気で、他県から来店される方もいます。

「遠州根洗窯」は青葉の家、こもれびの家で作陶しており、所狭しと店内に並んでいます。季節ごとに展示を変えており、見るだけで心が温まります。イートインスペースでは、出来立てのパンと挽きたてのコーヒーなどを楽しむことが出来ます。もちろん、工房めいのどうまい卵や工房ゆうの紙製品等も販売されており、浜松協働学舎の商品を一堂に楽しむ事が出来ます。

毎年春と秋にはやきものまつりを開催しており、月に2回程土曜営業日を設けています。また、地域で活躍する作家さんの個展を開くこともあります。今年8月と11月にそれぞれ開催をして、大好評をいただきました。今後もイベントや地域の皆様にご喜ばれる企画を予定しています。

店舗が新しくなってきたから、様々なお客様に利用していただいております。「社会福祉法人が運営して



いる店舗」としてだけではなく、地域に根付いたお店としてこれからも営業をしていくつもりです。皆さまのご来店をお待ちしております。



聖隷クリストファー大学 聖灯祭

11月に行われた聖隷クリストファー大学の聖灯祭で販売をさせていただきました。多くの学生さんや地域の方々に「しまうま倶楽部」の商品をご購入いただき、ファンを増やす良い機会になりました。「平日しかやっていないお店だ！今日は買えるね！」と嬉しい声もいただきました。

聖隷クリストファー大学 オープンキャンパス

8月4日、聖隷クリストファー大学にて夏のオー



プンキャンパスが開催され、参加者へのおもてなしとして冷たいドリンクの配布とクッキーの販売をさせていただきます。

浜松協働学舎は、日頃より実習やボランティア、就職等で大変お世話になっており、今後も末永い繋がりがりや連携を大切にしたいと考えています。

強度行動障害支援者養成研修を開催しました

「強度行動障害」は、自閉スペクトラム症や知的障害のある人が、コミュニケーションの困難や感覚の過敏さから環境に適応できず、不安や嫌悪感から強い行動障害を示す状態です。支援には専門的な知識と技術が必要です。ひかりの園では静岡県指定を受け、令和6年6月から7月にかけて、強度行動障害支援者養成研修を開催しました。

当法人の職員以外に地域の福祉職員も参加され、環境調整、効果的なコミュニケーション、肯定的な関わり方、自律的な活動促進を講義と演習で学びました。

基礎課程 24名、実践課程 16名が修了し、学んだ内容を日々の支援に活かしています。



ふれあい交流スポーツ大会

10月4日(金) 浜北区にあるサーラ・グリーンアリーナで開催されました。

午前は永年勤続表彰大会が開催されました。浜松協働学舎の各事業所のご利用者や職員も表彰されました。会場から温かい拍手をいただき、写真撮影をして労いの言葉を掛け合っていたのが印象的でした。表彰された皆様に改めてお祝いを申し上げます。

昼休みには、細江あすなる作業所が中心になり、アトラクションが行われました。皆で大きな輪を作り、音楽に合わせて踊ったり、太鼓に合わせて体を動かしたり、配られた新聞紙の棒でリズムをとったりと音楽に合わせて思い思いに体を動かしました。午後からは玉入れ、大玉転がし、パン取り競争を行いました。玉入れでは、皆さん籠をめぐって投げていました。籠を背負って走り回る実行委員もいましたが、コントロール良くあ

つという間に終わりました。大玉転がしでは、三人一組になり息を合わせながら、次の組へ大玉を渡していました。リレー形式のためか応援にも力が入り、声を掛け合いました。最後のパン取りでは、美味しいあんパン目掛けて皆さん全力疾走。去年と同様、パンを手で掴み「やった！」と



嬉しそうな笑顔をされている方が多かったです。楽しい時間はあっという間に終わってしまい、参加された方からは「また来年も行きたい!」という声が多く聞かれました。

交通安全教室

今年もこもればの家を会場に交通安全教室が開催されました。浜松中央警察署の交通安全指導員さんにご協力いただき、正しい歩道の歩き方・横断歩道の渡り方など基本的な交通マナーのお話しをしていただき、最後に信号機の模型を使い、正しい横断歩道の渡り方を体験しました。



敬老慰問

敬老の日を祝う恒例の敬老慰問に、浜松協働学舎を代表して根洗作業所のご利用者が第三静光園を訪問させていただきました。今年も施設内にお邪魔させていただきました。お年寄りの方たちに、しまま俱樂部の特製クッキーを直接お渡しして、こどもの日にいただく「かしわ餅」のお礼をお伝えしました。

相談支援事業所まで 職員研修

令和6年11月に北海道へ職員5名で視察研修に行ってきました。北海道白老町にある社会福祉法人

ホープにて、法人の常務理事で北海道手をつなぐ育成会会長の佐藤様から、北海道の障害福祉についてや、法人の成り立ちについてのお話を伺い、生活介護と就労継続B型事業所、グループホームを見学させていただきました。

人とつながり、地域とつながりながら事業を継続してこられたことや、色々なことにまず挑戦して行動する姿勢など、とても勉強になることが多くあり、広大な敷地や鹿の解体場など北海道ならではの事業所には驚きました。この研修で得たことを、今後の支援に活かしていきたいと思っております。旅行中には雪も降り、北海道らしさを満喫できた研修旅行となりました。

旅行を楽しんでいます!

新型コロナウイルス感染症が5類になって1年以上が経過し、これまでの生活が戻りつつあります。浜松協働学舎では今年も各施設で旅行に出かけています。今回はその一部をご紹介します。

根洗作業所

1グループは、琵琶湖テラスと東映太秦映画村がメイン。琵琶湖テラスでロープウェイに乗り、山頂の超爽快な絶景を楽しみました。ホテルの夕食や温泉



も最高でした。2日目は京都水族館と東映太秦映画村に行ってきました。お天気に恵まれ少し暑い日になりましたが、素晴らしい景色とおいしい食事、温泉をみんな満喫することができました。

2グループは横浜・鎌倉へ。よこはま動物園ズーラシアでは、たくさん動物たちを見て、夕方は横浜中華街で面白い物をしました。宿泊場所のローズホテル横浜の重慶飯店で絶品の中華料理を堪能。翌日は鎌倉の大仏を見て、江ノ電を見ながら大はしゃぎ。江ノ島水族館ではイルカのショーも見て、身も心もリフレッシュできました。

3グループは静岡市清水区を満喫する旅。清水港で水揚げされた魚介たっぷりの海鮮丼やトロ三味のお寿司をほおぼり、日本平ホテルでは優雅にアフタヌーンティーを楽しみました。うつつら雪化粧の富士山が旅に彩りを与えてくれ、素敵な時間を過ごせました。

4グループは岐阜県に行ってきました。昼食は飛騨牛が美味しく有名な「みわ屋」で牛まぶしコースを堪能。その後は世界淡水魚水族館アクア・トトへ。長良川の源流から河口に生息しているイワナやオオサンショウウオなどを見て、大きな魚を見てビックリした様子でした。



工房ゆう

工房ゆうでは、名古屋港水族館に行ってきました。あいにくの雨予報ではありましたが、大きく崩れることな無事に行ってくることができました。到着し、まずは館内のレストランアリバダで昼食。メニューはハンバーグとエビフライの洋食プレート。そして、館内散策では、イルカのショーを見たりクラグに夢中になったりとそれぞれに過ごしました。売店では、家族や自分にお土産を買って沢山の思い出を作ることができました。

出発前は、楽しみでウキウキしている方や車が苦手で落ち込んでしまっている方など様々でしたが、みんな笑顔で一日を終えることができました。

こもれび

「おいしいものを食べたい!」「のんびり過ごしたい!」という仲間の声に応え、蒲郡方面へ旅行に行ってきました。1日目、豊川稲荷で商売繁盛の祈願と記念撮影をした後は、皆さんお待ちかねのバイキング♪目の前で、シェフが大きなフライパンを振って作ったアツアツの料理に皆さんご満悦の様子でした。お宿は三河湾を一望できる「海洋閣」。露天風呂ですっきりした後は、地元産の新鮮な魚介類や、ブランド和牛「みかわ牛」を使った豪華料理に舌鼓を打ち、久しぶりのカラオケで大盛り上がりで



した。宴会の後、ロビーでお酒を飲みながら作ったお揃いのプレスレットは旅の良い思い出になりました。2日目はリニューアルをしたばかりの「竹島水族館」へ。綺麗になった館内で色とりどりの美味しそうな魚たちを見たり、お土産を買ったりして皆さん大満足でした。2日間とも天気に恵まれ、皆さん終始笑顔の大満足の親睦旅行でした。

こもれびの家

今年度のこもれびの家は、一泊旅行と日帰り旅行に分かれて行いました。

一泊旅行は「蓮台寺温泉と伊豆の名所めぐり」。伊豆パノラマパークでロープウェイに乗り、絶景の風景を堪能した後は体験型カエル館 Kawazoo。世界中のカエル達との触れ合いを楽しみました。2日目は下田海中水族館へ。アシカ、イルカショーを楽しみ、可愛らしい姿に癒されました。食事はアワビや金目鯛など伊豆名物の御馳走に舌鼓。大満足な旅行でした。

日帰り旅行では御前崎方面に行ってきました。静岡空港やなぶら市場で海鮮ランチを楽しみ、KADODE OOGAWA ヤ格蘭ピア牧之原でお土産選びを楽しんできました。天気にも恵まれ、一日満喫してきました。



会費を寄せてくださった方々(敬称略) 6月~11月

山本美代子	大場美代子	別所慶則	下村順	北智子	神谷留美
山本睦代	松下正	工房まつもと	細倉義穂	有賀吉穂	竹下恵
堀尾基道	松下奈保子	(有)エース電工	伊藤尚	鈴木はつ美	松下和代
坂中祐子	鈴木芳之	丁子典子	伊藤英子	武藤颯太	深見誠
北川みどり	森本博幸	中村恵美子	野牧宏孝	長谷いづみ	西山美紀
堀川正記	村木徳幸	梶村自動車(株)	野牧あつ子	青木ひさ	野田健太郎
鈴木美乃里	竹村忠彦	(株)セイシン	野牧弥生	安田美香	森山憧子
小山麻野	池谷光規	小林哲夫	森田歯科医院	鈴木由貴	鈴木謙介
小山誠二	田口志津子	田中勝俊	(株)3S-Planner	石原真由美	鈴木洋子
小山実穂	蘭田和夫	ルキーナ	大石章二	安間里美	鈴木里美
柴山昌司	大石英子	細川薫子	田畑みどり	石和千恵美	小針秀樹
柴山由美子	岩崎電気保安	鈴木恵	藤井良之	川村春子	天野翔耀
加納佳市	管理事務所	小田敏行	袴田竜太郎	森島千穂	吉田千裕
石川洋	岩崎延久	小田史子	山名一暢	鈴木朱美	請井優里花
宮司隆文	(株)スプレッド	多田典子	徳留敏幸	松尾弥咲	外山千種
宮司和子	荒川博子	鈴木功	木俣幸恵	富田久実子	中村朱里
巖城静子	足立喜平	高畑裕子	開高志	柳瀬滋彦	
宮崎匠	足立幸子	坪井一哲	伊藤千秋	宮下孝輔	
松下真子	内山宏	富永重之	森上優実	片桐結哉	
長谷末宏	内山純子	富永恭子	羽木栄人	岡市伶那	
長谷扶美子	中尾正	市川いね子	鳥江悠太	澤木貴子	
松実祐俊	中尾香織	蓑輪努	山本健士	扇仁美	
松実三枝	山田泰史	手塚均	宮本葉子	平野貞裕	
山口訓充	兼房泰博	手塚寛	池谷佳代子	坂中夕也	
松浦繭子	兼房彩乃	手塚恵美子	唐澤京子	平山進太郎	
大沢まゆみ	河村宏美	木村真希	北見由起子	袴田恵里花	
山本典且	稲垣富代	伊藤哲	今田さとみ	南諭子	
片山玲子	滝口真紀世	伊藤あかね	今田博貴	原裕達	
内山泰宏	大橋忠	伊藤いづみ	藤田祐子	並松篤司	
内山良子	黒田修史	伊藤研	倉田朋	鈴木幸恵	
岡田万寿男	鈴木フサエ	岩崎力	内藤佑樹	三村沙央里	
西塚紀男	鈴木敬子	岩崎ユリ子	猪野厚志	大岩葉子	
太田篤佳	(一社)MTK	平野桂子	秋山元気	鈴木はるみ	
			中村真弓	中西久美	

寄付物品 宮本牧江
寄付金

浜松協働学舎を支える会にご入会ください

浜松協働学舎は、浜松協働学舎の事業を支える団体です。障がいのある人が地域で安心して当たり前前に生活できる支援システムを積極的に作っていきたいと思います。どうか皆様の温かいご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

- 郵便振替 名古屋 00860-8-35121
浜松協働学舎を支える会(同封の振替用紙をご利用ください)
- 銀行振込 静岡銀行三方が原支店 普通 0171466
浜松協働学舎を支える会

個人会員：年額 2,000 円
法人会員：年額 20,000 円

社会福祉法人ひかりの園 浜松協働学舎

■浜松協働学舎企画相談室	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 681 番地の 5	電話 053-430-0596 FAX053-430-0597
■生活介護/根洗作業所(定員 20 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 1117 番地の 1	電話 053-436-5529 FAX053-436-5746
■生活介護/青葉の家(定員 20 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 667 番地の 3	電話 053-570-1700 FAX053-570-1701
■生活介護/こもれびの家(定員 35 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 1013 番地の 3	電話 053-439-8235 FAX053-439-8236
■生活介護/工房めい(定員 35 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 742 番地の 5	電話 053-430-4710 FAX053-570-2201
■生活介護/工房ゆう(定員 20 名)	〒431-1112	浜松市中央区大人見町 3419 番地の 5	電話 053-570-1310 FAX053-570-1313
■障害者支援施設/浜松協働学舎根洗寮 (施設入所支援 40 名・生活介護工房だん 20 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 681 番地の 5	電話 053-430-0596 FAX053-430-0597
■グループホーム/ラポール根洗(定員 7 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 1117 番地の 3	電話 053-420-1325
■グループホーム/すてっぷ 主たる事業所・すてっぷ	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 667 番地の 3	電話 053-570-1702
従たる事業所・ほっぷ	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 742 番地の 6	電話 053-420-2250
従たる事業所・ぱれっと	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 740 番地の 3	電話 053-420-0250
■グループホーム/こもれび(定員 6 名)	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 1108 番地の 2	電話 053-439-6800
■グループホーム/コムニオ湖東(定員 7 名)	〒431-1112	浜松市中央区大人見町 3419 番地の 1	電話 053-485-4600
■遠州根洗寮・しまうま倶楽部	〒433-8108	浜松市中央区根洗町 1013 番地の 4	電話 053-439-8235 (こもれびの家併設)
■相談支援事業所まど	〒431-1112	浜松市中央区大人見町 3419 番地の 5	電話 053-570-1312 FAX053-570-1311